

日本共産党

# あなたの要望を届け、県と交渉

週刊

## 明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2005. 5. 29

通巻 No. 778

日本共産党  
小矢部市委員会

何でも  
ご相談を



前衆議院議員

木島日出夫

元参議院議員

笠井あきら

党県常任委員

上田俊彦

市内平桜6450  
TEL 69-8113

党県政対策委員長

上田ゆみ子

市内道明17  
TEL 68-2106

市議会議員

砂田喜昭

市内七社245  
TEL 67-4322  
Fax 67-4842

禁無断転載  
複写配布



県庁で交渉する砂田市議(左端)=5月19日

### 少人数学級

## 小3まで拡大を

**要望** 35人学級を小学3年生まで拡大することにも、対象学年を計画的に引き上げて下さい。

**回答** 小学1、2年生を35人以下学級としたが、その成果と課題を検証したい。小学3年生以上は財政問題もあるので、少人数指導で対応したい。また、中央教育審議会でも少人数学級の議論がされるので、その動向を見守りたい。

35人以下学級の  
成果を広く県民に

**砂田** 35人以下学級の成果を検証すると言ったのだが、みんな大変喜んでいる。アンケートなどで集約した父母や先生の声をマスコミや県民に広く公表していただきたい。そうすれば、財政問題も県民世論の応援で解決できるのではないか。

**回答(県教職員課)** 公表については係で協議したい。

### 浄化槽清掃料金

## 清掃業者の料金公表を

**要望** 合併処理浄化槽の清掃料金引き下げを業者に強かに指導して頂きたい。7人槽で11万円の請求をされた人もある。県内の清掃料金の一覧を公表して頂きたい。

**回答** 県内の清掃業者は80社。料金開示が進むよう働きかけたい。

### ほつとはうす干羽

## 30床増床を

**要望** 特別養護老人ホームのほつとはうす干

住民のみなさんから寄せられた要望を2006年度県予算に反映させるべく、日本共産党富山県地方議員団は5月19、20日、県庁の各部署と交渉しました。  
砂田喜昭小矢部市議も参加しましたので、その概要を報告します。

羽の30床増床計画が実現できるようして下さい。

**回答** 国から施設への補助金制度が無くなり、県交付金が来る仕組みになったので、県主体としての交付金を確保するように努力したい。

### 乳幼児医療費の窓口無料化

## 立替払いをなくし県の制度に

**要望** 乳幼児医療費の窓口無料化を全県の制度として充実して下さい。

**回答** 県単医療費助成制度全般の見直しを進めているので、その中で検討したい。  
**砂田** すでに県内市町村がそれぞれ独自に窓口無料化を進めているが、市外の医療機関ではいったん立て替え払いをしなければならぬ。県が無料化するのと比べて、市外の医療機関を利用する人にとっても、窓口無料となるので、ぜひ県の制度として実施して欲しい。  
**回答** それも含めて検討していきたい。

### 無年金者の救済

## 最低保障年金制度の実現を

**要望** 国民年金の掛け金をかけた期間が25年に満たず、年金の受給資格がなくなった人がいます。65歳を過ぎて、老後を大変心配しています。最低保障年金制度の実現をはじめ、各種の救済策を示して下さい。

**回答** 国の年金制度見直しの中で無年金問題も協議されると聞いている。

**砂田** その協議に際し、無年金者の生活実態の把握が必要ではないか。ぜひ実態調査を下さい。  
**回答** わかりました。

### 空き家活用で

## 低家賃住宅を

**要望** 空き家の借り上げや、雇用促進住宅の入居資格条件の緩和などで低所得者のための低家賃住宅を確保できるようにして下さい。  
**回答** 中古住宅の活用は町のにぎわい創

日本共産党と県当局の交渉は年に2、3回行われます。そのやり方は、日本共産党より事前に要望を県当局に提出し、交渉当日、その回答を各課の担当者からうけたあと、参加した議員との間でやりとりが行われるものです。  
何年もこれを繰り返して、小学校の少人数学級実現や、県水の単価引き下げなども実現することができました。

出たに役立つと思うが、公営住宅制度にならぬか疑問だ。市町村が企画されることについては相談に乗る。  
雇用促進住宅については、市町村に払い下げたいとの意向だが、要望の件は関係機関に伝えたい。

### 県立となみの高校も

## 市の上水道利用を

**要望** 県立となみ野高校が小矢部市の上水道を利用するようにして、地下水のくみ上げを中止して下さい。

**回答** 小矢部市から申し入れがあれば協議したい。そのうえで、財政当局とも相談しなければならぬ。

### 大谷小学校近辺

## 県道に歩道を

**要望** 県道藤森岡線大谷小学校近辺に歩道の設置を進めて下さい

**回答** 昨年末には県単予算で1000万円程度で設計や一部用地買収を進めていたが、今年度から公共事業に格上げになった(国の予算も入ることになった)ので、より促進する。

### 能越自動車道

## 無料区間の拡大を

**要望** 能越自動車道を国道8号線の代替路線として認定し、小矢部東ICから高岡IC間も無料区間にしてください。その際、北陸高速(小矢部ジャンクション)から小矢部東IC利用者の料金をもとの50円に戻して下さい。

**回答** 昨年、この区間を無料にする社会実験を行った。8号線の交通量が2万1800台から1万6700台に減少し、能越道の利用が2.8倍に増えた。8号線を拡幅するより経済的なので、国に要望したい。なお、小矢部東ICから小矢部東ICの料金については、ETC利用割引があるので、理解して欲しい。